

先週のマーケット動向(6月5日～6月9日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,307.0	1,311.0	1,291.1	1,291.5	▲14.2
JPY/KRW	9.3237	9.3720	9.2652	9.2680	▲0.134
KOSPI	2,617.43	2,644.70	2,595.33	2,641.16	+39.80

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。5日のドル/ウォンは1,313.0ウォンでオープン。前週末に米雇用統計が良好な内容だったことで市場センチメントが改善。1,313.9の週高値をつけた後、韓国株式市場への海外の資金流入などからドル/ウォンは下落した。祝日明けの7日はもみ合い推移が続いた。8日は前日夜間にカナダ中銀が予想外に利上げを行ったことで米追加引き締めに対する警戒感が高まりドル/ウォンは底堅く推移も、1,308ウォン付近まで上昇した後は一服し、再び1,300ウォン台前半まで戻した。9日は前日夜間に米新規失業保険申請件数の増加を受け、米利上げ休止への織り込みが高まり、米金利が低下。一方株式市場は堅調推移したことで、韓国市場への資金流入も強まり、ドル/ウォンは下落。週安値となる1,291.1をつけた後、前週末比▲12.2ウォン下落した1,291.5ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は週初下落基調で推移した後、反発と予想。米利上げ動向については労働市場縮小の予兆から6・7月は利上げ休止との見方も高まり、インフレも減速との見方が強まっている。一方、13日には米5月CPI、13-14日に米FOMCを控え、週初のドル/ウォンは様子見ムードもあり上値重く推移しようが、各種イベント通過後は材料出尽くし感もあり、ドル/ウォンは反発か。米政策金利については市場織り込みも日替わりで変化しており、同時に発表されるドットチャートの内容にも注目したい。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1280 ~ 1310	9.15 ~ 9.45	138.0 ~ 141.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 13日(火) 米 5月 CPI
- 14日(水) 韓 5月 失業率
- 米 5月 PPI
- 米 FOMC 政策金利発表
- 15日(木) 米 6月 失業保険新規申請者数
- 日 4月 機械受注
- 米 6月 NY連銀製造業指数
- 米 5月 鉱工業生産
- 米 5月 小売売上高
- 中 5月 小売売上高
- 中 5月 鉱工業生産
- 日 5月 貿易統計
- 欧 ECB 政策金利発表
- 16日(金) 米 6月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
- 欧 5月 CPI 確報値
- 日 BOJ 政策金利発表